

本会議から付託された議案8件の審査を行うため、9月9日に産業水道委員会を開催しました。

### 議案第63号 平成26年度総社市水道事業会計資本剰余金及び 未処分利益剰余金の処分について

#### ～内容～

平成26年度総社市水道事業会計における資本剰余金及び未処分利益剰余金の処分について、地方公営企業法第32条第2項及び第3項の規定により、市議会の議決を得ようとするもの。

#### ～結果～

質疑、討論もなく、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

### 議案第64号 平成26年度総社市工業用水道事業会計資本剰余金 及び未処分利益剰余金の処分について

#### ～内容～

平成26年度総社市工業用水道事業会計における資本剰余金及び未処分利益剰余金の処分について、地方公営企業法第32条第2項及び第3項の規定により、市議会の議決を得ようとするもの。

#### ～結果～

質疑、討論もなく、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

### 議案第66号 平成27年度総社市一般会計補正予算（第3号）

#### ～内容～

本委員会の所管に属する部分は、有害鳥獣対策事業における報奨金制度の新規創設に伴う報償費及びそれに伴う県補助金の増額が主なもの。

#### ～結果～

次のような審査のあと、採決の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

～質疑～

問：イノシシ・シカ猟期捕獲に対する報奨金について、予算計上 380 頭の根拠は何か。

答：昨年の実績により計上している。

認定第5号 平成26年度総社市農業集落排水事業費特別会計  
歳入歳出決算認定について

～結果～

次のような審査のあと、採決の結果、全員一致で認定すべきであると決定。

～質疑～

問：人口、家屋が増加している山手地区の処理能力は十分なのか。

答：現時点では、処理能力に余裕がある。

認定第6号 平成26年度総社市公共下水道事業費特別会計  
歳入歳出決算認定について

～結果～

次のような審査のあと、採決の結果、全員一致で認定すべきであると決定。

～質疑～

問：山手地区の処理能力は十分なのか。

答：処理能力は十分ではないため、ネットワークにより総社下水処理場へ繋ぎ、応急的に使用する予定としている。それにより認可区域についても変更手続きを行う必要がある。

問：施設管理費の委託料の不用額が多額な理由は何か。また、委託先との契約は随意契約なのか。

答：汚泥の発生量が25年度と比較すると約600 t減少しており、水処理が良好であったため不用額が生じている。なお、委託先は廃棄物の処理及び清掃に関する法律の中で信頼のおける業者となっていることから、委託前に視察を行い岡山県環境保全事業団及び民間のコンポスト会社3社と随意契約している。

## 認定第7号 平成26年度総社市国民宿舎事業費特別会計 歳入歳出決算認定について

### ～結果～

次のような審査のあと、採決の結果、全員一致で**認定**すべきであると決定。

### ～質疑～

**問：大規模修繕が予想されるが、今後の見通しはどうか。**

答：サンロード吉備路において修繕計画を立てているが、開館から12年経過し、突発的な修繕も発生しており計画通り行われなこともあるが、修繕計画に沿った改修に努める。

**問：スポーツセンター等とタイアップして学生の合宿客数を伸ばすような方策は検討していないのか。**

答：庁議のメンバーとの検討会においても意見があり、今後はスポーツセンター等とタイアップして学生の合宿に力を入れていきたい。

## 認定第9号 平成26年度総社市水道事業会計決算認定について

### ～結果～

次のような審査のあと、採決の結果、全員一致で**認定**すべきであると決定。

### ～質疑～

**問：石綿管の取替工事の進捗状況はどうか。**

答：残存延長は国道、JR及び河川の下に1775m残っている。今年度JRの下を二箇所実施する予定で、国道等についても、協議を進めながら来年度以降実施していく。

**問：未収金が昨年度より増えている。どのような対応を行っているのか。職員で対応できないのであれば、訴訟も行えると思うが検討はないのか。**

答：訴訟は今のところ検討したことはない。給水停止である程度の成果が見込めると考えており、これにより分納誓約等による未収金回収の強化を行っている。

## 認定第10号 平成26年度総社市工業用水道事業会計決算認定について

### ～結果～

質疑、討論もなく、全員一致で**認定**すべきであると決定。